



## 幼児教育の中で考えること

子育て支援に携わる支援者の立場から

幼児教育アドバイザー

奥野 みどり



2016年1月に放送されたNHKスペシャル「ママ達が非常事態！？～最新科学で迫るニッポンの子育て～」はご覧になりましたでしょうか？子育てが孤独で耐えられない！不安ばかり募ってしまう！という中で、ある調査によれば、「子育てで孤立を感じる」というニッポンの母親は7割。また、出産を機に“うつ”を発症する「産後うつ」は、一般的なうつの5倍以上。なぜ産後のママたちは、孤独や不安を感じやすいのか。との始まりで、科学的な理由があることを説明し、視聴者から大変反響のあった番組です。

私は前橋市幼児教育アドバイザー等の仕事を通して、保育園や幼稚園、認定こども園への巡回相談、研修会、乳幼児やその保護者（主にお母様方が多いです）の方々からの子どもの発達に関わる相談に携わっています。その相談の最初の場面では多くのお母様方が、今までの子育て等に関わる経験を振り返る中で涙し、相談の後半で今後の目標を見出していけます。現代は、子育て等に関する情報を得ようとすればインターネットからいくらかでも得られ、同じ子育てをしているママ友と繋がろうとすればPCや携帯等を通じて知り合い、交流が図れる時代です。しかしながら、相談場面では皆さん孤独の中で悩んでいます。また、そこには自分の子どもの成長を祈り懸命に努力されている姿があります。保護者自身について振り返っていただくと、褒めてもらったことや認めてもらったことの経験が少なく、自己肯定感が低い傾向が見られます。子育ての経験は、自分自身を成長させることに繋がりますが、自己の成長には程遠い現実です。

子育て支援に関わる支援者は、保育園や幼稚園等の先生方を始め、保健センターの保健師さん、ファミリーサポートに携わる先輩ママ、地域の保健推進員さん等々多くの方々がおられます。保護者や支援者の皆様からの相談などを通してみる子どもたちの姿は、時には育てにくさや、育ちにくさを抱えている場合もありますが、それぞれの子どもたちが精一杯自分の持てる力を発揮して真剣に生きている姿です。子育てに携わるすべての人たちは今一度、子どもの視点に立って考え、互いに肩の力を抜いて困っていることや悩んでいることを伝え、共有してみたら、きっとよい支援や解決方法が見つかるのではないのでしょうか。



(群馬パース大学講師)

「平成28年度 前橋市幼児教育教職員 自作保育教材展」の作品出品  
ご協力ありがとうございました。

＜協力校園所＞ 岩神保育園・認定こども園明星幼稚園・認定こども園慈照幼稚園・  
第一保育所・第二保育所・第三保育所・第四保育所・総社保育所・元総社保育所・  
清里保育所・桂菅保育所・広瀬保育所・まえばし幼稚園・大胡幼稚園・大胡東幼稚園・  
宮城幼稚園・明和学園短期大学・群馬医療福祉大学